

Crew Voice

2017年4月13日 第7号

JR東海労・新幹線車内業務見直し反対プロジェクト

JRCPの離職率が高い！ 要員不足が深刻化している！

JRCPの過去3年間の新卒採用者の離職者数は3割を超えています。

2013年 新卒採用 87名中 ⇒ 離職者 25名 (28.7%)

2014年 新卒採用 96名中 ⇒ 離職者 35名 (36.4%)

2015年 新卒採用 124名中 ⇒ 離職者 44名 (35.4%)

過日乗り組んだJRCPの社員に聞いたところ昨年度は、「東京で150名を超える社員が退職した」といわれています。そのため要員不足が深刻化して会社とJRCP会社と業務委託しているパーサーの乗り組みは、のぞみ4名（パーサーマネージャー・サブ2名、ワゴン販売担当2名）乗せるところ、ほとんどが3名乗り組みとなっています。このような離職率が高いJRCPで今回の車内業務の見直しの要員確保はできるのでしょうか？

JRCP職場の勤務実態は過酷だ！！

- ★5日連続勤務は当たり前で8日連続勤務
 - ★年末年始には13日連続勤務になった
 - ★年休はとれない。連続休暇制度はあるが全員がとれない、取ればラッキー
 - ★勤務に勝手に休日勤務が入る
 - ★今ダイヤ改正では、東京駅でそのままホーム折り返し行路
 - ★春休みに入り臨時列車が増え、前日乗務し明けで勤務終了するはずが、パーサー・クルーがそのまま東京～新大阪までの一往復を乗務するような事態も発生
- このような労働条件・環境を改善しない限りJRCPの要員確保は困難です。

わたしたちは、新幹線車内業務の見直しをやる前に、要員確保はもとよりJRCP労働者を含む全乗務員の労働条件・環境改善が最優先されなければならないと考えています。

私たちはすべての乗務員・お客様のためにも
「新幹線車内業務の見直し」に反対します。